

■ビームライフル 自由姿勢 <ルール>

①依託台を使用することができる。

銃の銃床部用心鉄より先の部分に1個(台)を使用することができる。

銃が接触する依託台の接触面は、1か所につき **6cmX6cm** を超えない範囲とし、銃床底面及び側面の各一か所の接触を認める。

依託台の接触面は、射台の平面に対し水平または垂直とし、銃と依託台の接触部分に射手の体の一部分でも触れてはならない。

ただし、銃床部分の擦過等の防止を目的とする。2~10ミリ程度の厚さのいわゆる緩衝材(ラバー等)を貼りつけることは認めるものとする。

②依託台は射手、銃、机(射台)、椅子、マット、床等と固定してはならない。

③着席した据銃姿勢をとる場合は、机(射台)、マット及び椅子は、

原則として主催者が準備するものを使用しなければならない。

但し、高さ変更の出来ないいすの場合は体格に合わせて座布団等で高さを調整しても良い。

■デジタルピストル 自由姿勢<ルール>

①依託台を使用することができる。

②台は主催者が用意したもの(1個)を使用することができる。

③デジタルピストル種目については、手首を依託台に乗せて撃つ方法のみ認める。

④銃を依託台に乗せて撃つ方法は認めない。

⑤銃と依託台が接触することは認めない。

⑥依託台は射手、銃、机(射台)、椅子、マット、床等と固定してはならない。

⑦着席した据銃姿勢をとる場合は、机(射台)、マット及び椅子は、

原則として主催者が準備するものを使用しなければならない。

但し、高さ変更の出来ないいすの場合は体格に合わせて座布団等で高さを調整しても良い。